

ごあいさつ



公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

会長 安道光二

令和4年度第77回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会が、全国各地からの精鋭による参加を得て、香川県高松市において盛大に開催できますことは、主催者としてこの上ない喜びであります。

昨今、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ界も大きな影響を受け、ソフトテニスを楽しむことが難しい時期もありましたが、当連盟では皆様が安心して参加できるよう「ソフトテニス大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を策定し、事業を再開することができました。

この天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会は、ソフトテニス競技者が目指す最高峰の大会として位置付けられており、厳しい条件の中で権利を得られた選手が出場されます。ここに参加される選手の皆様に心より敬意を表し、練習の成果を余すところなく発揮されることを期待いたします。ここで繰り広げられた熱戦は、全国のソフトテニス愛好者に感動を与え、ソフトテニスがより一層発展していく活力となることでしょう。

選手の皆さんは、この最高峰の大会に出場していることに誇りを持ち、日頃培ったスポーツマンシップとフェアプレイの精神のもと、多くの観客を魅了できるように頑張ってください。日本連盟ではフェアプレイ宣言「ありがとうあなたの笑顔とそのマナー」、環境宣言「来たときよりも美しく」を掲げています。スポーツができる環境への感謝の気持ち、対戦相手や大会を支えてくださる方々への敬意を忘れることなく大会に臨んでください。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり長年にわたりご支援・ご協力を賜りました香川県ソフトテニス連盟をはじめとする関係各位に深甚なる敬意と感謝を申し上げます、本大会の成功を祈念し、ごあいさつといたします。